

# いちよう

発行日 平成24年7月9日  
 発行者 小山市立福良小学校長 加藤泰男

## 結城紬の製作工程がはじまりました 煮繭(しゃけん)、真綿掛け(6/28)



煮繭

繭を布袋に入れ、重曹を入れたお湯で40～50分間煮ました。お湯は多少黄色みをおび、匂い立ってきました。これが、煮繭です。

次に、真綿掛けです。これが難しい。紬指導支援センターの



円の中心にサナギ

永田先生は、いとも簡単に袋真綿の作り方を教えてくださいましたが、これは熟練が必要ですので、準備していただいた木枠で角真綿掛けをしました。

①煮繭した繭を1つ取り、ぬるま湯の中で広げると、中のサナギが出てくる場所があります。そこに指を入れ少しずつ広げます。②木枠の切り込み上部2つに掛け、これも少しずつ下に引いて、下部の2つの切り込みにかかけます。

この作業を5つの繭、5回繰り返して、1枚の角真綿ができました。その後、干しました。



真綿掛け

煮繭と真綿掛けを3年生と5年生が経験しました。教わったとおりにはしていましたが、真綿をきれいにかけることは、私にはできませんでした。これが、地機織りの横糸に使えるのか、不安になりました。「いいものを作るのには、熟練の技が欠かせない」ですね。

やってみると、真綿かけは、根気がある作業です。機織りもそうですが、女性の力がなければ、結城紬はなかったように思いました。

## 6年生機織り開始(6/26～)

6年生は6班に分かれ、石島敏江先生に、織りを教えていただいています。1時間目は子どもたち全員で指導を受け、その後は、昼休みに1班ずつきめ細かに教えてい

**学校教育目標**

- ◎いのちを大切にしている子ども
- 心豊かな明るい子ども
- よく考え自ら学ぶ子ども
- 進んで働く健康な子ども

**教育活動統一テーマ**

- やさしさとたくましさ
- 福良の教育

ただいています。習得には個人差があります。それはそれでいいのです。

まずは体験、次に結城紬のよさに気づく、それが広がって、福良の文化・歴史・産業・自然に興味関心をもってほしいと考えています。子どもから福良について話題提供し、家族の皆さんと話が発展していくと、ふるさと学習のねらいが達成されたといえます。この様なことを私は期待しています。

## 全校集会(七夕)(7/4)

昨年度から、私は七夕集会を行いたいと考えていました。今回、それが、かないました。

### 《集会の流れ》

- ①天の川の写真を見る。
- ②日本むかし話の「七夕さま」を視聴する。
- ③本人や家族の本人への願いや期待を書いてもらった短冊を、声のものさし1の大きさで読む。
- ④ランチルームの班で飾る。
- ⑤天の川の位置を、夏の大三角形(織女・織り姫・ベガ、牽牛・彦星・アルタイル)を参考に知る。

七夕飾りが初めての子がいたり、毎年家庭で短冊に願いを書いて飾る子がいたり、七夕の歌「ささのはさらさら…」を初めて聞く子がいたり、子どもたちの七夕体験は様々でした。

ご家族の皆様には、ご協力いただき感謝申し上げます。七夕集会を機会に、本人の願い以上に、家族のお子さんへの願いや思いを、本人が知り、家族の愛情を感じることをねらいの一つとしました。ねらいは達成されたと思います。



また、小学校で地域や日本の文化伝統行事を全校で取り上げることが少なくなっています。このことも気にかかっていました。何人かの子どもに聞きますと、中には、七夕の歌を知らない、短冊に願いを書いたことがない、織り姫と彦星の伝説を知らない子がいました。1年間の歳事(正月などの行事)を知らないまま大人や親にならないようにしてあげたい、思いました。

## 福良学童野球部 県大会出場決定(6/30) おめでとうございます

6月30日(土)第1試合、一進一退の攻防でした。制限時間も残り少ないので、6回の攻撃でゲームセットになって勝ち試合と思っていたのですが7回へ。7回の裏、福良学童の守備。1点差で2死満塁、スリーボール、ツーストライク、相手打者もねばってファール、応援の太鼓も声援も、心臓がドキドキしながら、力がはいりました。ピッチャー最後の投球、スリーアウト、ゲームセット。県大会を決める1勝でした。試合も応援もすばらしく、感動しました。

今から30年前に県大会に出場したと聞きました。今回、県大会出場の快挙を成し遂げた、福良学童の球児たち、監督さんをはじめコーチのみなさん、そして父母の会のみなさんに、盛大な拍手をお贈りします。あらためて、県大会出場おめでとうございます。



福良学童球児のみなさん、昨年の秋から新チームになって、県大会をめざし、練習に励んできました。みんなの願いがかないました。おめでとうございます。ここまでの力をつけてきたのは、監督さんをはじめコーチのみなさん、そして、応援してくれた父母の会や育成会のみなさんのおかげです。県大会では、感謝の心を持ち、福良学童の実力を爆発させてください。

## 防犯教室(7/3)

1年生教室に、凶器を持った不審者が侵入したとの設定で、避難訓練を行いました。校舎の構造上、2階は4年生教室(昨年実施)、1階は1年生教室になります。1年生には事前に不審者役の警察官を紹介して安心して避難できるようにしました。

不審者侵入 → 緊急警報(1年教室侵入確認) → 侵入者確認 → 警察に通報(性別、服装、背丈等)

この間、教室では、担任は侵入者が子どもに近づかないように、机椅子を滑らしたり、投げようとしたり、駆けつけた職員も同様の行動、子どもは他の職員と所定の場所に避難しました。

次に、体育館で下校中の不審者対応訓練。「不審者と感じたら、大声で助けてーと叫び逃げる、そして、こどもひなんの家などに報告する。」これが、訓練内容でした。昨年との違いは、子どもが大人に報告することが、入りました。

池田小の事件以来、学校の安全を確保するために、門を閉め、昇降口も閉め、教職員が普段いない場所の出入り口は施錠しています。他の学校で起きたことは福良小でも起きることを念頭に対処しています。

6/15 収繭  
6/16 金銭・金融教育

立哨タスキ

合同体育  
物の命をいただきます。私の小学校時代は、酪農でしたので、鶏、豚、自給自足に近いですから、家族が塗擦、解体、保存、調理をしていました。平をしています。牛の誕生や飼育は牧場に出かけたり、映像で視聴したり、体験つくり抜けています。  
蚕、結城紬に話をもどしますと、繭を作りさなぎになった段階で「煮繭(しきさなぎの命をいただきます。さなぎは土にかえります。

家庭学習

放射線量

校時刻  
蚕の公開と取組の説明

5/15 Q-U 検査  
家庭学習・とちぎの教育基礎基本

3.4年生合同体育

平成24年度学年学習・体験内容

学年	内 容
1,2年	蚕の飼育、上簇、収繭、毛羽とり
3年	収繭、毛羽とり、煮繭、真綿がけ
4年	糸つむぎ、管巻き
5年	蚕の飼育から機織りまで全行程
6年	機織り(卒業記念)

蚕を迎える会 (5/21)

は、石器時代も現代も変わらず、生き牛、畑には野ウサギがいました。ほぼ成の今は、ほとんどの家族は、調理だけしたりしていますが、調理までの間はそ

ゃけん)」をして、真綿をとります。このと

1つ目 下級生のめんどうをみる  
○相手のために  
○自分を成長させるために

2つ目 進んで働く健康な子ども  
○からだの健康 体力づくり  
○休み時間は全員外で遊ぶ  
○こころの健康 たくさん話す  
友だちや先生と

3つ目 あいさつと返事  
○声の物差し一全体に

4つ目 自分を伸ばす  
スリーポイント

① 自分のため 友だちのため  
みんなのために  
楽しいクラスにすること

② 学校で 家庭で  
楽しく勉強すること  
体を動かして 運動したり  
遊んだりすること

福良小のみなさんへ  
校長先生より

- 1 教育活動全般・行事
- 2 地域
- 3 豊かな心
- 4 学力向上
- 5 体力向上
- 6 健康診断
- 7 あいさつ 返事
- 8 職員情報
- 9 放射線情報
- 10 児童作文
- 11 福良小の歴史
- 12 合同体育
- 13 教育目標変更
- 14 家庭学習
- 15 家庭と連携
- 16 結城紬
- 17 蚕の飼育
- 18 新体力テスト報告
- 19 学力テスト報告
- 20 いじめ不登校予防と発見対応
- 21 金管活動
- 22 道徳教育
- 23 10の約束
- 24

六年生 柴山 大輝 さん

## 「六年生になって」

ぼくが六年生になってがんばりたいことは、三つあります。

一つ目は、何でも集中してやることです。勉強でも運動でも、集中して努力を続け、最後までやりぬきたいです。

二つ目は、家で毎日復習をすることです。今までは、授業で勉強するだけで、家ではあまり勉強していませんでした。しかし、六年生になると、勉強が難しくなるので、しっかりと復習して、学習したことを理解できるようにしたいです。

三つ目は、野球です。なぜなら、もっともっと野球がうまくなりたいと思うからです。特に、今年は学童野球が終わりなので、自分のすべてを出して全力でがんばりたいです。そのために、自分の決めた練習を続けたいと思います。また、今の仲間野球をやるのも最後なので、一日一日を大切にやっていきたいです。

この三つをがんばり、最高学年の六年生として、下級生のお手本となれるように行動していきたいです。そして、小学校での楽しい思い出をたくさん作りたいです。

二年生 柿木 達翔 さん  
「二年生になって」

ぼくは、二年生になってがんばりたいことが二つあります。

一つめは、べんきょうです。

こくごでは、おぼえるかんじがふえるので、いっしょうけんめいれんしゅうして、しっかりおぼえたいです。そして、ていねいで、きれいなじをかきたいです。

さんすうでは、ひっさんや九九がでてくるので、たくさんもんだいをといて、はやくせいかくにこたえをだせるようになりたいです。

二つめは、うんどうです。

いろいろなうんどうにいっしょうけんめいとりくんで、力をつけていきたいです。とくに、うんどうかいやじきゅうそうたいかいでは、きもちよくはしりたいです。

それから、ともだちとなかよくたのしくあそぼうとおもいます。男の子も女の子もみんなであそぶと、とてもたのしいです。みんなでサッカーやけいどろなどたくさんやりたいです。

たのしく、げんきにがんばってよい一年間にしたいです。